|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 現代の国語 | 単元名 | 日常の中の文章 |
| 使用教材 | 写真を文章で説明する | 使用教科書 | 数研出版　新編　現代の国語 |
| 教材観 | 日常で扱う文章に関して学ぶ単元である。事実と主観を明確に区別して、相手に文章で正確に内容を伝えるという言語活動を中心としている。写真を文章で説明するという一見簡単そうに見える内容でありながらも、事実と主観を普段あまり意識していないことに気づくよいきっかけとなる単元である。また、説明させる内容を変えることで幅広い活動ができるため、応用しやすい教材と言える。 |
| 生徒観 | 普通科高校ではあるが、ほとんどの生徒が就職していく。専門学校や大学へ進学する生徒もいるが、基本的には推薦で進学していく。学力が低い生徒が多く、学習への苦手意識が強い。一方で、指示されたことはしっかりとやろうという意識はあり、授業に前向きに取り組む生徒も多い。 |
| 指導観 | 生徒はある説明はわかりやすいが、ある説明はわかりにくい、ということを感じ取ることはできる。しかし、そのわかりやすさ、わかりにくさはどこから来ているのか、ということを明確に説明できない生徒がほとんどではないだろうか。単純な内容ながらも、普段は考えない視点から物事を考え、メタ認知を鍛えるという点で今後の様々な活動の基本となる能力を伸ばす活動となる。あえてわかりにくい説明を聞かせることで、何がわかりにくいのかを考えさせ、わかりやすさを考えるきっかけとさせたい。わかりやすさについて学び、その知識を使って実践することで理解を深めさせていきたい。 |

現代の国語　単元指導計画

１　単元の目標

(1) 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。

（知識及び技能　(1)オ）

(2) 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。

（思考力、判断力、表現力等　Ｂ(1)ウ）

 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

　（学びに向かう力、人間性等）

２　単元の言語活動

・読み手が必要とする情報に応じて説明文を書く。

　（関連：思考力、判断力、表現力等　Ｂ(2)イ）

３　単元の観点別評価規準と評価の進め方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。（(1)オ） | ①「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。（(1)ウ） | ①説明文を書くことを通して、伝えたいことが的確に伝わるよう説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 |

［知識・技能］の評価

おおむね満足できると判断する状況をBと捉え、第1次で記入したノート、第２次で取り組むワークシートの記述を中心に確認して評価する。事実と主観を区別し、文章の構成が整っていればおおむね満足できる状況であると考える。

事実と主観の区別ができていない、あるいはその区別を表現できていない、努力を要すると判断する状況をCと捉え、個別に声をかけて具体例を示すなど、アドバイスを行う。

［思考・判断・表現］の評価

おおむね満足できると判断する状況をBと捉え、第２次、第３次で取り組むワークシートの記述で確認する。下書きは評価に含めず、最終的に書き上げた説明文を読み、初読の相手にも内容がほぼ伝わる文章になっていればおおむね満足できる状況であると考える。

文章に読み手への配慮がなく、努力を要すると判断する状況をCと捉え、読み手に伝える際に不足している情報を考えるようアドバイスを行う。

［主体的に学習に取り組む態度］の評価

おおむね満足できると判断する状況をBと捉え、第3次での振り返りシートの記述で確認する。学習前に意識していなかったと思われる読み手の視点を意識できるようになっていたり、授業内で扱ったわかりやすい説明のポイントを取り入れた文章が作成できていたりと、授業内容を踏まえた変容が見られていればおおむね満足できる状況であると考える。

本単元での気づきや学び、今後の活用場面などがまとめられず、努力を要すると判断する状況をCと捉え、直接話を聞くことで、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探る。

４　指導と評価の計画（全３時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
| １（本時） | 〇単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。〇事実と主観の違いを理解する。〇事実と主観を区別して文章を書く。 | ［知識・技能］① | 「記述の確認」　ノート |
| ２ | 〇課題の写真を見て、事実と主観を区別して挙げていく。〇写真を見ていない人にも伝わるように説明文を書く。〇お互いの説明文を読み、自分の文章の改善に生かす。 | ［知識・技能］①［思考・判断・表現］① | 「記述の確認」ワークシート |
| ３ | 〇説明文を読んで、その説明をわかりやすくする方法を考える。〇わかりやすい説明のポイントを理解する。〇与えられた課題について、自分なりにわかりやすい説明を書く。 | ［思考・判断・表現］①［主体的に学習に取り組む態度］① | 「記述の確認」ワークシート |

　単元の流れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
| 1 | 〇単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。〇事実と主観の違いを理解する。〇事実と主観を区別して文章を書く。 | ・事実と主観の区別をしっかり理解しているか、具体例を挙げながら確認していく。・事実だけ、主観だけの文章を書くのではなく、記述の上で区別することを意識させる。 | ［知識・技能］①「記述の確認」ノート・事実と主観の違いを理解して、それを区別した記述ができているかを確認する。 |
| 2 | 〇課題の写真を見て、事実と主観を区別して挙げていく。〇写真を見ていない人にも伝わるように説明文を書く。〇お互いの説明文を読み、自分の文章の改善に生かす。 | ・写真から読み取れることをなるべく多く挙げさせる。・相手が写真を見ていないことを意識したときに何が必要な情報かをよく考えさせる。 | ［知識・技能］①［思考・判断・表現］①「記述の確認」ワークシート・説明の仕方をよく考え、写真を見ていない人が写真をイメージできるだけの説明になっているか確認する。・事実と主観を区別して、説明を工夫しようとしたかを確認する。 |
| 3 | 〇説明文を読んで、その説明をわかりやすくする方法を考える。〇わかりやすい説明のポイントを理解する。〇与えられた課題について、自分なりにわかりやすい説明を書く。 | ・あえてわかりにくい説明文を提示することでわかりやすい説明に必要な情報を考えさせる。・わかりやすい説明への意識が日常生活にも生かせることに気づかせる。 | ［知識・技能］①［主体的に学習に取り組む態度］①「記述の確認」ワークシート・情報を提示する順序などわかりやすい説明のポイントを理解しているか確認する。・ポイントを意識した説明文を作成することができているかを確認する。 |

５　学習指導案(３時間目/全３時間)

本時の目標：ア、わかりやすい説明の方法を意識して他者に伝わる説明を書く（書く能力）

　　　　　　イ、わかりやすい説明になるよう書き方を工夫し、粘り強く取り組んでいる

（主体的に学習に取り組む態度）

言語活動：説明文を書く

本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入１０分 | ・本時の目標の確認・スライドの説明をもとに絵を描く。 | ・ワークシートを受け取り本時の活動を理解する。・説明に沿って絵を描くことで、説明によっては情報伝達がうまくいかないことを理解する。 | ・あえて情報が不足した説明を提示する。書き終えたら、何人かの絵を比較し、同じ説明でも全く違う捉え方が発生することを実感させる。 |
| 展開３５分 | ・わかりやすい説明に必要なことを考える。・学んだことをもとに自分でわかりやすい説明を作る。 | ・導入の説明に不足している情報を考える。・不足している情報について考えたことをグループで交流する。・スライドをもとにわかりやすい説明に必要なポイントをプリントにまとめる。・わかりやすい説明のポイントを意識してフランス国旗を説明する文章を書く。・グループでお互いの説明を見せ合い、ポイントを踏まえたわかりやすい説明になっているかを確認する。＊時間に余裕があれば、より難しい課題（おまけ：セーシェル共和国の国旗を説明する）にも取り組む。 | ・すぐにポイントを提示するのではなく、生徒それぞれが考える時間を確保する。・説明の相手に関しては、国旗を全く見たことがない人を想定していることを強調する。【目標アに対する評価規準と評価方法】規準：わかりやすい説明のポイントを踏まえた説明を書くことができている。方法：記述の確認（ワークシート、机間指導）〔目標ア達成のための手立て〕・生徒の説明によって想定される図を描いて見せることで、どんな情報が足りていないかを考えさせる。 |
| まとめ５分 | ・本時の内容の振り返り | ・振り返りシートを使って自分の説明について自己評価をして、学んだことを活用できる場面を考える | 【目標イに対する評価規準と評価方法】規準：わかりやすい説明を書くための粘り強い取り組みができている。方法：記述の確認（ワークシート、机間指導）〔目標イ達成のための手立て〕・わかりやすい説明ができることで、日常生活にも役立つことを意識させ、学習への意欲を高める。 |